



令和8年度

牛込二中だより

【第4号】

発行日 令和8年7月10日

発行 新宿区立牛込第二中学校
校長 小泉 雅一

Web <https://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>



【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人

思いやりと責任感のある人

健康で心豊かな人

貴重な学びの機会 “修学旅行”



令和8年6月16日
3年生修学旅行最終日(軍艦島へ上陸)

令和8年6月14日(日)から16日(火)までの2泊3日間。3年生は、修学旅行で長崎へ行ってきました。

修学旅行の1日目は、主に長崎原爆資料館や平和公園を訪れ、平和学習を行いました。生徒たちは、今から81年前、当時7歳で被爆された語り部の方から、貴重なお話を伺いました。



修学旅行1日目(長崎原爆資料館)



修学旅行2日目(班別行動)

「みなさんは、“何のために学校へ行くの?”と聞かれたら、ちゃんと答えることができますか？」

「毎日、食事が頂けて、学校へ通えることを、決して当たり前だと思わないでください。」

語り部の方が語られた一つ一つの言葉には、戦争を経験したからこそその重みがあり、生徒たちの心にも深く響いているようでした。

その後、長崎原爆資料館では、原爆による被害の実相を伝える写真や焼け残った遺品などを見学しました。それらを見つめる生徒たちの真剣な眼差しが印象的で、それぞれが平和の尊さや命の大切さについて考えを巡らせている様子が伝わってきました。

2日目は、主に班別行動を行いました。事前に班員同士で相談して決めた訪問先を、公共交通機関を利用して巡りました。計画どおりに進めることができた班もあれば、予想以上に移動や見学に時間がかかり、計画の一部を変更した班もありました。しかし、予期せぬ出来事



修学旅行2日目(班別行動)

に直面した際には、班員同士で相談しながら臨機応変に対応し、全ての班が無事に集合場所へ戻ることができました。このようなハプニングも、仲間と協力して乗り越えたことで、掛け替えのない経験と良い思い出になったのではないのでしょうか。

同日の夜は、宿舎に有田焼の職人の方をお招きし、有田焼の絵付け体験を行いました。一人ひとりが思い思いの絵柄を丁寧に描き、世界に一つだけの作品が完成しました。時には、友だちと作品を見せ合いながら、日中の班別行動の疲れを感じさせないほど和やかで温かい雰囲気になっていました。



修学旅行2日目(有田焼 絵付け体験)

修学旅行の最終日となる3日目は、長崎港から船に乗り、軍艦島へ上陸しました。軍艦島と呼ばれる端島は、1974年に閉山した海底炭鉱の島で、最盛期の1960年には約5,300人もの人々が暮らしていたそうです。島内には学校や病院だけでなく、映画館などの娯楽施設も整備されていたと説明を聞き、限られた小さな島の中に一つの町が形成されていたことに驚きました。かつて多くの人々が生活していた歴史や、当時の島の様子を知ることができ、貴重な学びとなりました。



修学旅行3日目(軍艦島へ上陸)

“目標”や“好きなこと”を見つけてほしい。

令和8年7月4日(土)、事前に実施した生徒へのアンケートをもとに12種類の職業に携わる講師の方をお招きし、全校生徒を対象に「キャリア探究フォーラム」を開催しました。



ダンサー&芸人

当日は、講師の方々が12か所の教室に分かれ、1回30分の講演を4回行っていただき、それぞれの仕事の内容や仕事のやりがいなどについてお話しいただきました。

生徒は、自分の興味や関心のある職業を主体的に選び、講師の方々の話を通して、様々な職業への理解を深めました。普段はなかなか聞くことのできない仕事の魅力や、働くことへの思いに触れる貴重な機会となりました。

本校で初めて実施したこの取組は、現時点で将来の職業を決定するためのものではありません。様々な職業に携わる方々のお話を聞くことで、自分の興味や関心、好きなことを見つけ、これからの学びや将来について考えるきっかけにしてほしいという思いから企画しました。

今回の経験が、生徒一人ひとりの可能性を広げ、自分の将来のことを考える第一歩になったら嬉しいです。

<生徒の感想(一部抜粋)>

私も将来自分がやっていて楽しかったりやりがいを感じられる仕事に就きたいと思った。

私も夢や目標をもち、今のうちから努力を重ねていきたいと思った。

将来のことについて考えるのは、私たちの人生やこれからの未来に関して大切なことだと思った。



パティシエ



建築士

表彰の記録

【陸上競技部】 第72回 全日本中学校通信陸上競技大会
男子共通 800m
第6位(2分1秒67) ○○ ○○さん(3年)

